

06歴史・文化・未来を育む学びのまちへ

施策名称	総括評価		今後の方向性
01創意ある学校教育の推進	B	<p>目標値に達していない指標もあるものの、ふるさと学習を取り入れるなど、各小中学校の独自性を持った多様な学習推進が概ね達成されています。また、学校給食の実施においては、地元産の食材の使用率が向上しました。</p>	<p>学校・保護者・地域の人々により、連携・協力しながら地域の教育力を生かした学校づくりを推進します。</p>
2学校施設の整備・充実	B	<p>校舎の耐震化及び普通教室への空調整備は全て完了し、安全で快適に学べる環境づくりが達成されました。</p>	<p>小中学校の適正規模・適正配置等を推進することで、児童生徒のより良い学習環境や生活環境、人間関係の構築を目指し、望ましい教育環境の整ったまちを目指します。</p>
3生涯学習の推進	B	<p>生涯学習情報の収集や提供を行い、生涯学習の推進を図っております。市民の「生きがい」創出や、知識・経験とともに豊富な地域の人材を大いに活用し、社会還元型の生涯学習を進めます。</p>	<p>市民が生涯いきいきとした生活を送れるための事業を実施するとともに、幅広い年齢層への広報活動を促進します。</p>
4生涯スポーツの推進	B	<p>天候の影響による体育施設利用人数の減少、スポーツ種目の増加・多様化等による体育協会加盟登録人数の減少、少子化の影響によるスポーツ少年団登録人数の減少により成果指標の目標値の達成はできませんでした。つくばねマラソンやサイクリング大会等のイベント並びにプール利用者については、参加者が前年より増加し、スポーツに親しむ環境の提供ができたとともに健康増進の効果が認められる。今後は、目標の達成や市民満足度の向上に向け検討が必要です。</p>	<p>少子高齢化や多種多様なニーズに応えられるよう、施設の維持管理や環境整備を行います。</p>
5文化・芸術の推進	B	<p>各事業は、事務事業の内容により計画的に取り組みを進めています。市民会館やイベント広場は、施設の特性に応じた活用が図られており、地域の文化振興や催事の拠点となっていることが、「成果指標」からも分かります。また、「加盟団体数」は目標値を超えており、文化芸術団体に対する支援や助成に一定の効果があると認められます。市美術展の来場者数については、文化芸術団体と連携することで、活動に取り組む人と活動に興味を持つ人との交流の場が創出されて、文化芸術活動の活性化を図ることができると思います。</p>	<p>市民会館は老朽化が進行していますが、施設の適正な管理・維持に努めながら、地域の文化芸術振興の拠点として多様な世代が参加できる事業を展開していきます。また、市民が親しみやすい文化芸術活動を展開し、文化芸術に親しみ創る人と観る人が交流できる創造性豊かな地域文化の向上を目指します。</p>

06歴史・文化・未来を育む学びのまちへ

施策名称	総括評価		今後の方向性
6青少年の健全育成	B	<p>青少年の健全育成に関する各種事業を実施するとともに、市民の理解を得られるよう広報活動に取り組み、地域での青少年育成活動を推進しています。子ども会事業の実施および子ども会指導者等の育成事業を行い、石岡市全体の明るく健やかな子どもの育成を推進しています。</p>	<p>共働きの増加等により、執行役員として活動出来る人材が減っています。事業内容、組織体系等のありかたを検討する必要があります。</p>
7歴史・文化財の保護・活用	C	<p>発掘調査経費、文化財保護保存及び普及経費の事務事業については、各種事業を計画的に進めてきましたが、事務の一部不適切な処理がありました。今後、事務処理上の重要な事項に関して、関係法令等に則り適正な執行を心がけていきます。事務事業の成果として、平成28年度当初の指定文化財及び国登録文化財の件数は、143件となっており目標値を達成している状況です。平成27年度からは定期的に「ふるさと歴史館企画展」を開催しており、昨年度7回の企画展を開催してきた中で、アンケート結果からリピーターがいることが分かり企画展について一定の成果が認められます。さらに、企画展とは別に毎年「文化財発掘調査報告会」を開催することで、市民の文化財や歴史遺産に対する関心を高めるよう努めます。</p>	<p>個々の文化財の特性に応じた活用を進めていきます。また、常陸国衙跡のAR化を進めるなど、中心市街地の看板建築等や市内の貴重な文化財を保存・活用することで、歴史に親しめる環境を目指します。</p>

平成28年度石岡ふるさと再生プラン施策評価シート

政策目標	06歴史・文化・未来を育む学びのまちへ
基本施策	01創意ある学校教育の推進
具体的取り組み例	特別講師による多種多様な学習活動の推進，地元産の食材を活用した学校給食の実施

1 総括評価

B	評価コメント
	目標値に達していない指標もあるものの、ふるさと学習を取り入れるなど、各小中学校の独自性を持った多様な学習推進が概ね達成されています。また、学校給食の実施においては、地元産の食材の使用率が向上しました。
A 順調 B 概ね順調 C 改善が必要 D 見直しが必要	今後の方向性
	学校・保護者・地域の人々により、連携・協力しながら地域の教育力を生かした学校づくりを推進します。

2 主要事業の概要

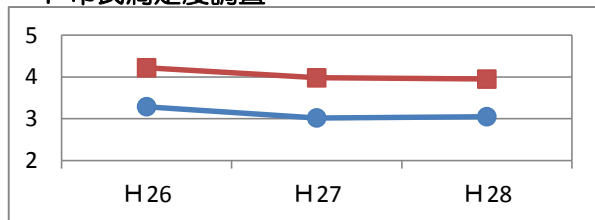
事業名【担当課】	事業の成果と今後の方向性
語学指導事業【教育総務課】	国際社会の中で、国際語としての英語の能力向上を目指し、また英語教育環境の充実を図るためにも継続的に実施していきます。
小中学校校務用コンピュータ整備事業【教育総務課】	当初の目標である整備は達成しています。今後はハードウェアの整備にあわせ、ソフトウェアの統一的な導入を検討する必要があります。
学校いきいきプラン推進事業（小学校）【教育総務課】	各学校の独自性を生かした教育の実施が達成されています。今後は、より質の高い事業内容となるよう各校で研究を深めるとともに、経費の削減を踏まえた効率的な事業実施が必要です。
学校いきいきプラン推進事業（中学校）【教育総務課】	各学校の独自性を生かした教育の実施が達成されています。今後は、より質の高い事業内容となるよう各校で研究を深めるとともに、経費の削減を踏まえた効率的な事業実施が必要です。
八郷給食センター調理業務経費【学校給食課】	石岡市産の食材使用率のさらなる向上を図り、郷土愛の醸成を図ります。
石岡給食センター調理業務経費【学校給食課】	石岡市産の食材使用率のさらなる向上を図り、郷土愛の醸成を図ります。

※主要事業は予算事業と一致していないことがあります。

3 成果指標

指標名	指標の説明	単位	初期値	目標値	H27 (実績値)
いきいきプラン年間事業件数	年間いきいきプラン開催数・	回	235 (H25)	290	228
英語に興味を持つ児童数の割合（小学校）	英語でもっと会話をしたいと思う児童数の割合	%	89.8 (H25)	95	90.1
英会話県南地区予選最終選考進出生徒数（中学校）	インタラクティブフォーラム地区予選最終選考に進出した生徒数	人	2 (H25)	4	0
地場産物の活用	第2次茨城県食育推進計画目標値35%（H27年度）	%	32.0 (H24)	47.0	55.0

4 市民満足度調査



	満足度 (●で表記)	重要度 (■で表記)
平成26年度調査	3.29	4.22
平成27年度調査	3.02	3.98
平成28年度調査	3.05	3.95

平成28年度石岡ふるさと再生プラン施策評価シート

政策目標	06歴史・文化・未来を育む学びのまちへ
基本施策	02学校施設の整備・充実
具体的取り組み例	学校施設の改修工事や耐震化，小中学校への空調設備の導入

1 総括評価

<h1>B</h1>	評価コメント
	校舎の耐震化及び普通教室への空調整備は全て完了し，安全で快適に学べる環境づくりが達成されました。
A 順調 B 概ね順調 C 改善が必要 D 見直しが必要	今後の方向性
	小中学校の適正規模・適正配置等を推進することで，児童生徒のより良い学習環境や生活環境，人間関係の構築を目指し，望ましい教育環境の整ったまちを目指します。

2 主要事業の概要

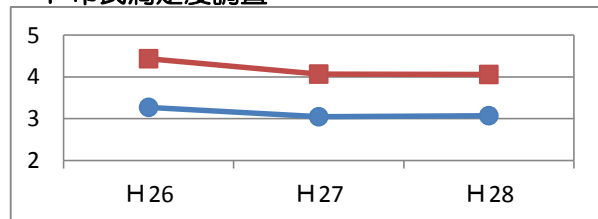
事業名【担当課】	事業の成果と今後の方向性
学校管理運営経費（小学校）【教育総務課】	限られた予算内で，事業の目的を達成することができました。今後も継続する必要がありますが，随時，事業費の削減余地について検討が必要です。
学校管理運営経費（中学校）【教育総務課】	限られた予算内で，事業の目的を達成することができました。今後も継続する必要がありますが，随時，事業費の削減余地について検討が必要です。
学校施設耐震化事業（小学校）【教育総務課】	平成27年度末をもって耐震化率は，100%になりました。
学校施設耐震化事業（中学校）【教育総務課】	平成27年度末をもって耐震化率は，100%になりました。
学校施設環境改善事業（中学校）【教育総務課】	平成27年度で，普通教室に空調を整備することができました。

※主要事業は予算事業と一致していないことがあります。

3 成果指標

指標名	指標の説明	単位	初期値	目標値	H27 (実績値)
適正規模の学校で学ぶ児童生徒比率	適正規模の学校で学ぶ児童生徒数÷児童生徒総数	%	58.7 (H23)	74.1	65.7
学校施設耐震化率	耐震化施設棟数÷全施設棟数 (200㎡以上)	%	77.9 (H22)	100.0	100

4 市民満足度調査



	満足度 (●で表記)	重要度 (■で表記)
平成26年度調査	3.27	4.44
平成27年度調査	3.05	4.07
平成28年度調査	3.07	4.06

平成28年度石岡ふるさと再生プラン施策評価シート

政策目標	06歴史・文化・未来を育む学びのまちへ
基本施策	03生涯学習の推進
具体的取り組み例	公民館での各種講座・学級の開催，図書館の利用促進

1 総括評価

B	評価コメント
	生涯学習情報の収集や提供を行い，生涯学習の推進を図っております。市民の「生きがい」創出や，知識・経験ともに豊富な地域の人材を大いに活用し，社会還元型の生涯学習を進めます。
A 順調 B 概ね順調 C 改善が必要 D 見直しが必要	今後の方向性
	市民が生涯いきいきとした生活を送れるための事業を実施するとともに，幅広い年齢層への広報活動を促進します。

2 主要事業の概要

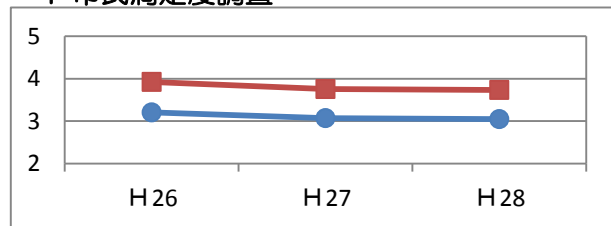
事業名【担当課】	事業の成果と今後の方向性
中央図書館管理運営経費【生涯学習課】	利用者のニーズに沿い，安全性に配慮した図書館運営を行い，利用者の利便性向上に向けた取り組みを行います。
中央公民館管理運営経費【中央公民館】	講座・学級等を開催し，学習の機会を提供します。利用しやすい施設を目指した施設環境を整備することで利用者の拡大を図ります。
放課後子ども教室推進事業【生涯学習課】	放課後児童クラブとの一体的な実施を視野に入れ，地域・学校と連携し，子どもの自主性・創造性・社会性を育みます。

※主要事業は予算事業と一致していないことがあります。

3 成果指標

指標名	指標の説明	単位	初期値	目標値	H27 (実績値)
放課後子ども教室参加者数	放課後子ども教室に参加する児童数	人	-	1,000	2,095
公民館の年間利用者数	同好会・講座等で公民館を利用した人数	人	59,800 (H22)	53,000	40,890
図書資料蔵書数	一般書，児童書，雑誌及び視聴覚資料の総数	作品	194,011 (H25)	225,000	203,330
来館者数	中央図書館への年度間来館者数	人	128,310 (H25)	140,000	138,841

4 市民満足度調査



	満足度 (●で表記)	重要度 (■で表記)
平成26年度調査	3.21	3.92
平成27年度調査	3.07	3.76
平成28年度調査	3.05	3.74

平成28年度石岡ふるさと再生プラン施策評価シート

政策目標	06歴史・文化・未来を育む学びのまちへ
基本施策	04生涯スポーツの推進
具体的取り組み例	つくばねマラソンなどのイベントの実施，ニュースポーツの推進

1 総括評価

<h1>B</h1>	評価コメント
	天候の影響による体育施設利用人数の減少，スポーツ種目の増加・多様化等による体育協会加盟登録人数の減少，少子化の影響によるスポーツ少年団登録人数の減少により成果指標の目標値の達成はできませんでした。つくばねマラソンやサイクリング大会等のイベント並びにプール利用者については，参加者が前年より増加し，スポーツに親しむ環境の提供ができたとともに健康増進の効果が認められる。今後は，目標の達成や市民満足度の向上に向け検討が必要です。
A 順調 B 概ね順調 C 改善が必要 D 見直しが必要	今後の方向性
	少子高齢化や多種多様なニーズに応えられるよう，施設の維持管理や環境整備を行います。

2 主要事業の概要

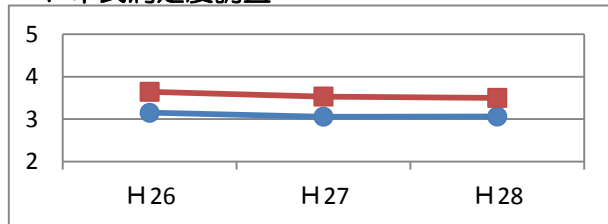
事業名【担当課】	事業の成果と今後の方向性
スポーツイベント事業【スポーツ振興課】	市民の健康増進と豊かな心を育むためにスポーツイベントの充実に努めます。

※主要事業は予算事業と一致していないことがあります。

3 成果指標

指標名	指標の説明	単位	初期値	目標値	H27 (実績値)
体育施設利用人数	体育施設を利用した延べ人数	人	386,720	400,000	385,917
石岡市体育協会加盟登録人数	石岡市体育協会への加盟登録人数	人	2,406 (H22)	2,400	2,145
スポーツ少年団加盟登録人数	スポーツ少年団への加盟登録人数	人	1,012 (H22)	1,000	825
【参考指標】 イベント等の参加者数	市主催イベント等の参加者数	人	24,791 (H26)	—	28,945

4 市民満足度調査



	満足度 (●で表記)	重要度 (■で表記)
平成26年度調査	3.15	3.64
平成27年度調査	3.06	3.53
平成28年度調査	3.06	3.50

平成28年度石岡ふるさと再生プラン施策評価シート

政策目標	06歴史・文化・未来を育む学びのまちへ
基本施策	05文化・芸術の推進
具体的取り組み例	美術展・芸術祭・文化祭などの開催，文化活動支援

1 総括評価

B	評価コメント
	各事業は，事務事業の内容により計画的に取り組みを進めています。市民会館やイベント広場は，施設の特性に応じた活用が図られており，地域の文化振興や催事の拠点となっていることが，「成果指標」からも分かります。また，「加盟団体数」は目標値を超えており，文化芸術団体に対する支援や助成に一定の効果があると認められます。市美術展の来場者数については，文化芸術団体と連携することで，活動に取り組む人と活動に興味を持つ人との交流の場が創出されて，文化芸術活動の活性化を図ることができると考えます。
A 順調 B 概ね順調 C 改善が必要 D 見直しが必要	今後の方向性
	市民会館は老朽化が進行していますが，施設の適正な管理・維持に努めながら，地域の文化芸術振興の拠点として多様な世代が参加できる事業を展開していきます。また，市民が親しみやすい文化芸術活動を展開し，文化芸術に親しみ創る人と観る人が交流できる創造性豊かな地域文化の向上を目指します。

2 主要事業の概要

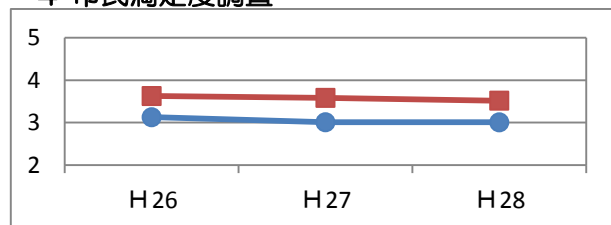
事業名【担当課】	事業の成果と今後の方向性
施設運営経費【市民会館】	施設の老朽化が進む中，利用者の利便性の向上に努めると共に，魅力ある事業を実施します。
施設維持管理経費【市民会館】	市内では，1,000人規模のホールを有する唯一の施設であり，多くの方に利用されています。しかし，築48年と老朽化が進む中，時代に対応した施設のあり方などの検討が必要です。
芸術・文化振興事業【文化振興課】	これまで文化芸術団体や市民と連携を図りながら，多くの市民が親しみやすい文化芸術活動の展開に取り組んできました。しかし，事業の内容によっては類似する事業があることから，事業の統合や実施方法の見直し等を行い，事業の効率化を図りつつ内容の充実を図ります。

※主要事業は予算事業と一致していないことがあります。

3 成果指標

指標名	指標の説明	単位	初期値	目標値	H27 (実績値)
市民会館施設利用者数	ホール・会議室等（8室）の利用人数	人	63,958 (H24)	65,000	68,739
石岡市美術展の開催	石岡市美術展の来場者数	人	1,388 (H24)	1,500	1,175
文化協会の育成	文化協会の加盟団体数	団体	33 (H24)	35	38

4 市民満足度調査



	満足度 (●で表記)	重要度 (■で表記)
平成26年度調査	3.13	3.63
平成27年度調査	3.01	3.58
平成28年度調査	3.01	3.52

平成28年度石岡ふるさと再生プラン施策評価シート

政策目標	06歴史・文化・未来を育む学びのまちへ
基本施策	06青少年の健全育成
具体的取り組み例	青少年相談員による街頭活動などの補助・支援，青少年を育てる会の活動補助

1 総括評価

B	評価コメント
	<p>青少年の健全育成に関する各種事業を実施するとともに，市民の理解を得られるよう広報活動に取り組み，地域での青少年育成活動を推進しています。</p> <p>子ども会事業の実施および子ども会指導者等の育成事業を行い，石岡市全体の明るく健やかな子どもの育成を推進しています。</p>
A 順調 B 概ね順調 C 改善が必要 D 見直しが必要	今後の方向性
	<p>共働きの増加等により，執行役員として活動出来る人材が減っています。事業内容，組織体系等のありかたを検討する必要があります。</p>

2 主要事業の概要

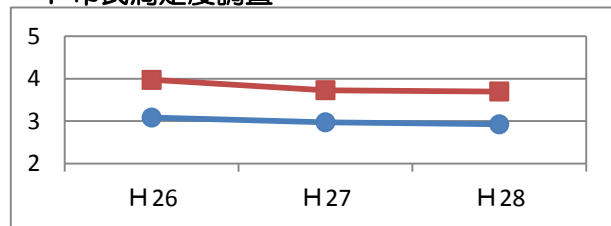
事業名【担当課】	事業の成果と今後の方向性
青少年育成事業【生涯学習課】	活動実態を踏まえた活動計画の改善等を検討する必要があります。
子ども会育成事業【生涯学習課】	限られた人員で効果的な成果を目指すため，効率的な事業推進に努めます。

※主要事業は予算事業と一致していないことがあります。

3 成果指標

指標名	指標の説明	単位	初期値	目標値	H27(実績値)
青少年相談員街頭活動回数	青少年相談員及び特別青少年相談員の街頭活動回数	回	78 (H24)	80	76
青少年を育てる石岡市民の会事業数	青少年を育てる石岡市民の会が開催する事業数	回	6 (H24)	7	8
石岡市子ども会育成連合会事業数	石岡市子ども会育成連合会が開催する事業数	回	6 (H24)	7	5
青少年ボランティア活動回数	青少年ボランティア団体がボランティア活動をした回数	回	9 (H24)	10	13

4 市民満足度調査



	満足度 (●で表記)	重要度 (■で表記)
平成26年度調査	3.08	3.97
平成27年度調査	2.97	3.73
平成28年度調査	2.92	3.70

平成28年度石岡ふるさと再生プラン施策評価シート

政策目標	06歴史・文化・未来を育む学びのまちへ
基本施策	07歴史・文化財の保護・活用
具体的取り組み例	文化財継承のための修理支援，文化財の有効活用

1 総括評価

C	評価コメント
	発掘調査経費，文化財保護保存及び普及経費の事務事業については，各種事業を計画的に進めてきましたが，事務の一部不適切な処理がありました。今後，事務処理上の重要な事項に関して，関係法令等に則り適正な執行を心がけていきます。事務事業の成果として，平成28年度当初の指定文化財及び国登録文化財の件数は，143件となっており目標値を達成している状況です。平成27年度からは定期的に「ふるさと歴史館企画展」を開催しており，昨年度7回の企画展を開催してきた中で，アンケート結果からリピーターがいることが分かり企画展について一定の成果が認められます。さらに，企画展とは別に毎年「文化財発掘調査報告会」を開催することで，市民の文化財や歴史遺産に対する関心を高めるよう努めます。
A 順調 B 概ね順調 C 改善が必要 D 見直しが必要	今後の方向性
	個々の文化財の特性に応じた活用を進めていきます。また，常陸国衙跡のAR化を進めるなど，中心市街地の看板建築等や市内の貴重な文化財を保存・活用することで，歴史に親しめる環境を目指します。

2 主要事業の概要

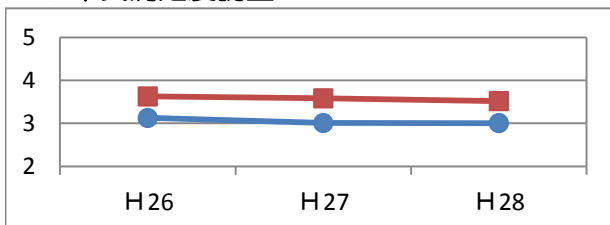
事業名【担当課】	事業の成果と今後の方向性
発掘調査経費【文化振興課】	調査件数自体は安定しており，今後も現状を維持して遺跡の保存に努めていきたいと考えます。なお，文化財の保護保存に市民の理解を得ることは不可欠であるため，調査の成果を分かりやすく市民に還元するなどして文化財の重要性を広めていきたいと考えます。
文化財保護保存及び普及経費【文化振興課】	文化財の保護保存及び活用事業は，今後ますます重要度が増すと思われることから，積極的に普及啓発の推進を図っていきます。また，国指定史跡については，保存・活用計画の策定を進めます。

※主要事業は予算事業と一致していないことがあります。

3 成果指標

指標名	指標の説明	単位	初期値	目標値	H27 (実績値)
指定文化財及び登録文化財	国・県・市指定文化財及び登録文化財件数	件	141 (H23)	143	143

4 市民満足度調査



	満足度 (●で表記)	重要度 (■で表記)
平成26年度調査	3.13	3.63
平成27年度調査	3.01	3.58
平成28年度調査	3.01	3.52

